

型番：UK-11
第1版 251105



4 9 0 0 4 7 4 0 2 8 3 1 8

■仕様

- 電源電圧：標準 DC 3.0V (2.7 ~ 5.5V)
※電池ボックス CR2032 (×1)
- 動作時電流：平均 300μA (信号検知時)
- 待機時電流：平均 230μA
- 赤外線信号検知：3.8KHz変調波
- 受光感度ピーク波長：940nm (近赤外線)
- 信号検知時：LED (赤色点滅) / 声電ブザー鳴動
※信号の内容によって点滅、鳴動パターンが変わります
- 基板サイズ：約 71 (高さ) × 41 (横幅) mm
- ・スタンドサイズ：直径 約 38mm (花形)

■電池寿命目安

電池寿命は電池メーカー、温度環境、使用頻度にも左右されます
が、CR2032 (約1ヶ月) 程となります。電池の液漏れで基板
が破損する恐れがあるので長期間使用しない場合は電池を電池ボッ
クスから外してください。

※当製品には電池は付属していませんので別途ご用意ください。

■対応するリモコン

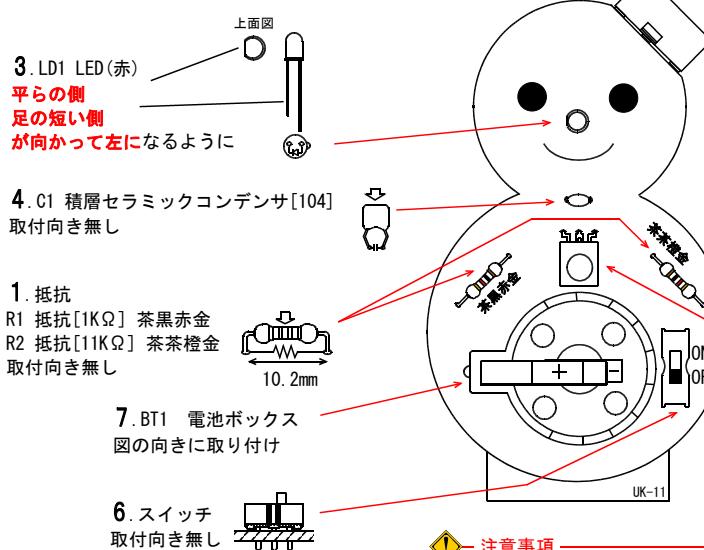
一般的な、ほとんどの家電製品用リモコンに対応すると思われます
が、38KHzの変調波でない、または940nm±15%以外の波長の光の場合
など特殊なものは検知できない場合があります

お客様へ

- 本製品およびそれらを構成する部品類は、改良、性能向上のため予告なく仕様、外観等を変更する場合があることをあらかじめご了承ください。
- 本製品は組立キットです。製作作業中の安全確保のため本書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- 完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立作業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。

組立参考図

パーツの取付けは組立参考図を見ながら番号順に行うと取り付けやすくなります。パーツは無理のない範囲で基板に当たるまで、きちんと差込み、基板にハンダ付けしてください。ハンダ付け後、余ったパーツの足はニッパーで切断してください。



※ONになるとLEDが点灯していくなくても受光
ICモジュールに待機電流が流れますので電池
を消耗します。ご注意ください。OFFにする
と待機電流はゼロになります。



8. BZ1 圧電ブザー
取付極性無し
※基板の溝みに
合わせて取り付け

1. 消しゴムなど1cm
ほどの厚みのあるも
のに写真のように乗
せ、BZ1の端子の片
側だけにハンダを盛
ります



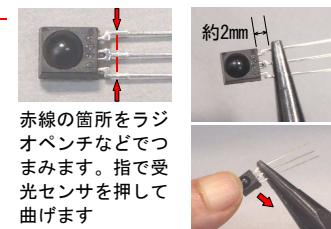
2. 圧電ブザーを片手で持ち、
ハンダを盛った所にハンダご
とを当てハンダを溶かして取
り付けます



3. 片側を固定した後、もう片
側の端子もハンダ付けしま
す。写真の状態で取り付け完
了です



2. M1 受光センサ(赤外線センサ)



写真のように90度
に折り曲げて、
IC1の箇所に差し込
んでください

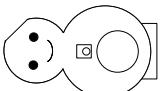
注意事項

※以下のような強い光(赤外線を含む)が当たった場合、LEDが点滅したり音が鳴る場合があります。
気になる場合は受光部の向きを変えるなどで対処ください。
□太陽光が直接当たる場合。□暗視機能付きカメラがある所。
□ディスプレイ(モニタ)の光が直接当たる場合。(赤外線が漏れている物もあります)
□LED照明などの照明光が直接当たる場合。
□ONになっている携帯電話(顔認証用のスキャンを行う機能があるもの)が近くにある場合。
※出力が強いため離れていても反応する場合があります。

パーツリスト

下記リストでパーツをチェックしてください。
リスト中の□にチェックを入れましょう。

□ 基板 UK-11 1枚



抵抗

□ 11K (茶茶橙金) 1個
11K (茶黑赤金) 1個



L E D
□ φ3 赤色 1個



□ 積層セラミック
コンデンサ 1個



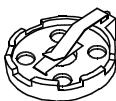
□ 受光センサ 1個



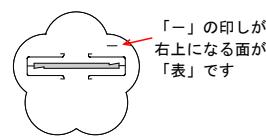
□ スイッチ 1個



□ 電池ボックス
1個



□ アクリルベース 1個



□ 圧電ブザー 1個



※レーザー加工によるパーツです切削面から
ヒビ割れがあることがあるのでエタノールなどの
薬品では拭かないでください

中央部分にアクリルが残っている場合は付属の
基板で写真のように中央部分を押して抜き取ってください。



※製造ロットごとに性能に影響しない範囲でイラスト、写真とは異なる色、形が僅かに異なるパーツがある場合がございます。あらかじめご了承ください。

使い方

別途用意する物 (製品には付属していません)

□ボタン電池 CR2032×1

□赤外線リモコン(テレビ エアコンなどの)

1. 電池ボックス(BT1)に電池(ボタン電池CR2032)を入れてください。

「+」と表記のある側を表に、基板側になる方を「-」になる向きで入れてください。

2. スイッチを「ON」側にします。
※「OFF」側にすると動作しません。

3. 受光センサ[M1]に向けて赤外線リモコンのボタンを押してください。

赤色LED[LD1]が点滅しブザー[BZ1]から音が鳴れば正常です。赤外線リモコンのボタンを押さないのに音が鳴る場合は、別の光源を受光している可能性があります。

1ページの注意事項を参照ください。

動作しない場合はL E Dの向きがあっているか(平らな側が向かって左)、ハンダづけが正しく行われているかをよく確認してください。

4. 動作確認後、必要に応じて「アクリルベース」をご使用ください。中央の四角穴にまっすぐに差し込んでください。入りにくい場合は端から斜めにして入れてください。

※アクリル樹脂はレーザー加工されているため断面部に細かい傷があります。洗浄にエタノール(消毒用アルコール)などの薬品を使用すると傷の部分から内部にしみこみ「ケミカルクラック」という白くなつてひび割れる現象が発生します。

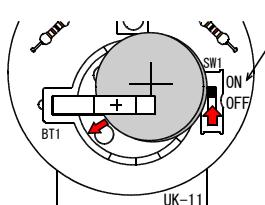
汚れた場合は中性洗剤をぬるま湯に数%溶かしたものを使い柔らかい布で拭き取ってください。



<https://prod.kyohritsu.com>

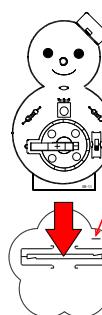
1.

電池は「+」の表記を上にして右横から滑らせて電池ボックスに入れてください。



2.

電源はスイッチ(SW1)を「ON」側(上)にすることで待機状態になります。
※LEDが光っていないなくても電池を消耗しますので使わないときは「OFF」側にしてください。



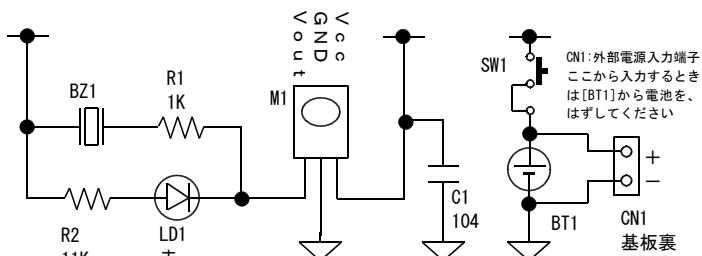
3.
受光センサに向け
てリモコン操作
※反射も受光する
ことがあります



4.
「-」の印しが右上
になる面が「表」になります。「裏」面
からは入りにくい場合があるので注意して
ください。

アクリル板の保護紙
(茶色)は剥がしてから差し込んでください。
(保護紙は水に濡らすと取りやすくなります)

回路図



※回路構成は予告なく変更する場合があります。

お問い合わせについて

- ・本製品の規格以外の使い方や改造の仕方についてのご質問にはお答えできません。
- ・規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しません。
- ・ご質問は質問事項を明記の上「封書」「FAX」「Eメール」でお願いいたします。
お電話ではお答えできません。(内容によっては回答に時間のかかる場合があります。)

お問い合わせ先 [FAX (06) 6644-4448]
[Eメール wonderkit@keic.jp]

ワンダーキット® 製品開発・販売元

共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26
TEL (06) 6644-4447 (代)
FAX (06) 6644-4448